

平成29年度
飯南町総合振興計画等評価委員会
報告書

平成29年8月22日・24日開催

飯南町総合振興計画等評価委員会

1 はじめに

平成 28 年度は、「第 2 次飯南町総合振興計画」の初年度、「飯南町総合戦略」の 2 年目となり、実質的なスタートを切る年となりました。

平成 27 年の国勢調査でもわかるとおり、人口減少が急速に進行しており、町の存在まで危ぶまれる試算がされておりますが、10 年後にも「笑顔あふれるまち飯南町」の将来像のもと、美しい自然と歴史ある伝統・文化を次世代に残し、住民と行政が一丸となって取組みを推進していく必要があります。

この度の飯南町総合振興計画等評価委員会では、飯南町総合振興計画・飯南町総合戦略に掲げる政策・施策の推進と目標指標を実現するため、平成 28 年度中に実施した直接的な効果を期待する 24 事業に対して評価をいたしました。

この評価報告書を基に、住民と企業・団体・行政が協働したまちづくりが推進されるよう政策・施策の検討資料としてご活用いただきますようお願いいたします。

2 評価の目的

飯南町総合振興計画等評価委員会設置要綱の規定により、飯南町の進むべき将来像及びそれを実現するための指針として策定した総合振興計画ならびにまち・ひと・しごと創生法に基づき策定した飯南町総合戦略の達成、進捗状況等について評価を行い、住民と行政が協働し、地域の特性にあった個性豊かで住民が真に暮らしやすいまちづくりを推進するため評価委員会を設置し、飯南町を取り巻く現状と課題の把握と総合振興計画・総合戦略の達成、進捗状況の評価を行います。

3 評価の方法

飯南町総合振興計画等の目標指標・目標数値の達成のために取り組む事業（全 24 事業）を選定し、飯南町役場担当課にて「進捗管理シート（別紙参照）」の作成をいたしました。このシートでは、事業概要・実施内容・評価・改善という P D C A での各過程を記載し、担当課の自己評価（一次評価）後に評価委員にて二次評価する手法を行っています。

評価委員会では、進捗管理シートを基に各課担当者より事業の説明を受け、質疑応答・意見交換を基に評価をしております。

評価のポイントとしては、成果・達成状況と事業の必要性・有効性・効率性と今後の方向性について検討し評価しています。

なお、評価の結果は、次の 5 段階（A~D）とし、それぞれに委員の意見等を添えました。

やむを得ず出席できなかった委員については、進捗管理シートを送り、書面のみでの評価を行っています。書面で不明だった点等があればその旨を記載しており、各施

策の意見・提案等の欄に併せて記載をしております。

A：極めて効果的であり、このまま継続して事業を推進する

B：想定する効果に達しており、継続して事業を推進する

C：想定する効果をやや達しておらず、要因の分析を要する

D：想定する効果を大きく下回り、要因の分析と目標値の見直しを要する

E：効果が出ておらず、事業自体の抜本的見直しを要する

また、評価委員から各事業について出た質問をあわせて報告いたします。委員からの質問は、地域住民等への事業説明など行う際の参考となると考えております。

4 評価の結果

(1) 一次評価

飯南町役場 所管課による自己評価

《評価結果》

担当課評価の割合

5段階評価	事業数	割合	備考
A	4	16.7%	
B	14	58.3%	
C	6	25.0%	
D	0	0%	
E	0	0%	
合計	24	100%	

(2) 二次評価

ア 評価委員による総評

担当課の評価について、Aでの評価をしている事業は、目標とする指数（KPI）を達成の達成や施策推進により着実に成果が上がっている状況でした。引き続き推進されるとともに、地域へのPRも行いながら地域一丸となった取組みとなるよう今後の検討をお願いします。

Bでの評価をしている事業の中で、結婚・出産・子育ての支援に係る事業は、即座に成果が出しにくい状況ではありますが、さまざまな支援策により子育てしやすい環境が整われています。目標数値では横ばい又は若干の減少という状況ではありますが、優れた施策でもあり、この施策を広く周知していただき、飯南町の子育て環境の良さを引き続きPRしていただきたいと思います。

産業関係では、産直市の売上を目標数値にしていますが横ばい状態です。事業の内容についてB評価とされていますが、目標値に達していない理由は何かを分析しながら推進されるようにお願いします。

Cでの評価は、目標とする指数に達していないことが理由かと思われませんが、三十路式事業は、定住対策としてはもちろん町内飲食事業者の利用につながり、効果的な事業と思われます。また、実施する主体による進め方は今後のリーダーを生み出すきっかけになると思われますので、内容を精査していただき引き続き進めて頂きたいと思いをします。

全体を通じて、効果が表れない事業については、施策の分析はもちろんのこと、事業凍結も含めて再検討すべきと考えます。また、必ず達成したい目標指数に対しては、ポイントを絞った事業展開により、着実・確実に進めていく必要があります。平成29年度もすでに半年を経過しておりますが、事業の再点検を行いながら対策を講じられますようお願いいたします。

イ 評価委員からの評価・意見・提案・質問等

※施策番号 「振＝飯南町総合振興計画」「戦＝飯南町総合戦略」

事業名	担当課	担当課 評価	委員 評価	意見・質問等
振 5-2、 戦 4-3 情報通信基盤 整備事業	総務課	B	A:0 B:6 C:2 D:1 E:0 未:1	<p><意見・提案等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備のみの施策評価であるが、設備投資後にどのように活用するかが重要である。双方向での活用などソフト面を検討すべきである。 ・通信速度の改善が目的ではなく、速度改善による付加価値をしっかりと各課と連携して検討すべきである。投資した分をどのように回収していくのかという検討をすべきである。 ・目標指標では達成率が0%であるが、事業実施の状況では予定通りと説明があった。それであれば、5カ年の年次計画などを提示すべきである。計画の内容についての状況を検証することが、この委員会の役割でもある。 ・定住・企業誘致でも情報通信基盤整備は必要不可欠の事業である。最優先で整備を進めるべきと考える。 ・進捗管理シートを見ても意味が分からず、一般の方には、想定する効果が具体的に分からない。具体的に記載するように。 <p><質問等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標数値は0%であるが、予定通りの進捗とはどういう理由か。 <p>Ans：目標指標は、通信速度や接続率であり、工事が完了するとともに目標達成となる。現在は、導入に向</p>

			<p>けた基本設計、詳細設計を行う取り組みは予定通り進めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総事業費はどの程度か。 <p>Ans：すべて整備すると8億円程度となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべて飯南町負担で整備するのか。 <p>Ans：国庫補助等を活用する計画である。</p>
<p>振 2-1、 戦 1-3 子ども・子育て支援対策事業</p>	<p>住民課</p>	<p>B</p>	<p><意見・提案等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士確保のための助成があるが、現実とギャップはないのか。雇用する際の賃金や待遇など根本的な対策をすべきである。 ・資格があってもその職に就かない方もいる。潜在有資格者の掘り起こしや、高齢者の有資格者の雇用も検討してほしい。 ・乳児保育は基本的に動かない子を見る。保育士の退職者や未資格者の対応も考えてみてはと思う。 ・第1子からの保育料の無料化など、飯南町ではすべて免除という施策はできないか。「子育てしやすい飯南町」のイメージにもなり、UI ターン施策としても注目されるのではと思う。 ・他の市町との横並びでなく、先陣を切った施策を検討してほしい。 ・子ども世帯を増加させるには、保育だけでなく、婚姻や子育て世代の転入が向上しないと難しい。目標値の変更をしてはと思う。 ・I ターン者の増加を考えると、乳児保育、病児保育は魅力である。早期に対応をお願いしたい。 ・子育て企業認定の制度があり、この制度により子育て世代が安心して働ける環境づくりに繋がっている。制度の周知を含めて、広くPRをしてほしい。 ・子育ては、働く場所（企業）と子育てする保護者の双方の支援や対策が必要である。双方の状況を把握しながら施策推進をしてほしい。 ・人口増・地域活性化には極めて重要な分野である。目標数値は、人口減少が続く中、世帯数で見ると厳しいと思われる。 ・子育てしやすい環境について、何に対して負担を感じているか、誰のためにやるのかを検証して取り組むことが大切である。 <p>A:0 B:4 C:5 D:1 E:0 未:0</p>

			<p><質問等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状で、生後 8 週からの受入れは可能なのか <p>Ans: 施設等環境整備はもちろん、人的な確保（保健師・看護師等）が必要。社会福祉協議会と協議を続けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳児保育は、保育士など特別な資格が必要なのか。 <p>Ans: 特別な資格を有している必要はないが、安全安心な乳児保育を進めるためには、保育士・看護師・調理師の確保が必要であり、現在は確保できていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳児保育の導入時期は。 <p>Ans: 平成 30 年度から導入を検討しているが、人材確保の状況による。</p>
振 2-1、 戦 1-2 出会い創出事業	住民課	B	<p><意見・提案等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度は 17 組の成婚者となっており、この取り組みにより効果が出ていると思われる。 ・「婚活イベント」の表記について、違和感を覚える。言い換えも必要であると思われる。 ・マリエやしろ会員 8 名、ご縁の会 9 名が出会いの場の創出とどう関わるのか、効果あるのか疑問がある。 ・ご縁の会は月一度開催が良いが、実施内容を検討し、継続的に進めることが必要である。 ・婚活の主担当も配置されており、数値も伸びている。動きとしては良好であると思う。 ・近隣市町との連携も行いながら進めていく事も検討してはと思う。 ・婚活支援員の配置により、きめ細やかな対応がなされている。すぐに効果が表れる施策ではないが、必要な施策であるため、引き続き推進してほしい。 ・対象者（未婚者）でありながら参加していない方が、出やすくする工夫を検討すべきである。再々誘う事が必要である。 ・独身者同士のつながりとしては交流イベントの参加人数で評価できるが、参加者がいつも同じであり、動員のような形で進められているでは意味がない。 ・仲人の育成は重要、少しでも多くの仲人に活躍してもらいたい。 ・若い男女のみでなく、年齢の高い方の出会いの場も必要である。 <p>A:0 B:7 C:3 D:0 E:0 未:0</p>

			<p><質問等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・マリエやしろとはどのような契約か。 <p>Ans：町との連携協定でスタートしており、やしろメイトの加入により、出会いの機会を拡大するよう依頼している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マリエやしろに会員登録すると、結婚する際はマリエ・やしろを使わなければならないのか。 <p>Ans：必ず使わなければならないという事はない。</p>
<p>振 5-2、 戦 4-3 公共交通機関 利用促進事業</p>	<p>住民課</p>	<p>B</p>	<p><意見・提案等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標指標はバス利用者だが、デマンド型タクシーも含めて出すこと。巡回バスとデマンド型タクシーの双方で数値をだしていきながら検証すべきである。 ・人口減少と併せ、利用者も減少する。デマンド型タクシーのみで考えず、自治会輸送なども検討しながら進めていくべきである。 ・デマンド導入による満足度調査を実施し、状況把握し、利用者の意見を取り入れながら進めてほしい。 ・タクシーの割引やチケット配布など、今後検討されてはと思う。 ・利用者の利便性向上は必要であるが、費用対効果の検証を行いながら進めてほしい。 <p>A:0 B:3 C:5 D:2 E:0 未:0</p> <p><質問等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・決まった所でしか下車できないが、より融通を利かした下車ができないか。 <p>Ans：どこでも下車できる形はタクシーと同じになる。乗り継ぎをすることは可能であるため、乗り継ぎについては別途料金設定を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の声はどのようにして得ているのか。 <p>Ans：飯南町地域公共交通会議では、行政・業者・地域住民が参画しており、この会議にてバス運行などを検討している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デマンド型タクシーは物流に使えるか。 <p>Ans：現段階では検討していない。まずはデマンド型タクシーの運行を整えた後に検討してみたい。</p>

<p>振 5-2、 戦 1-3 住宅リフォーム等助成事業</p>	<p>建設課</p>	<p>B</p>	<p>A:0 B:7 C:2 D:1 E:0 未:0</p>	<p><意見・提案等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・リフォーム助成と KPI の連動性が分かり難い。また普及率について、あと何件（何か所）すれば 100%になるのかという数値が見えない。目標指標の見直しをしてはと思う。 ・良い事業であるが、周知が足りない。広報以外でもチラシなど町内各所に設置されてはと思う。 ・公共下水への接続促進と、三世帯住居増築費用助成とは目的が異なるのでは。U ターン促進であれば、三世帯住居に限定する必要はないと思われる。 <p><質問等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・浄化槽の設置数は少ないと思うが、予算上出来ないということか。 <p>Ans: 住民から要望を受けて設置しているが、近年では年間 10 件程度となっている。設置を待機されている方はいない状況である。</p>
<p>振 1-1,1-5、 戦 2-2 地域振興臨時管理費</p>	<p>頓原基幹</p>	<p>B</p>	<p>A:0 B:4 C:2 D:3 E:0 未:1</p>	<p><意見・提案等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政や、運営する団体のみで考えず、観光や利用者拡大のため、アドバイザーなど導入して行うことも検討してはと思う。 ・健康増進施設と観光の側面があるが、健康増進施設であれば、しっかりとした利用状況のデータを得て進めるべきである。 ・温泉は目的地となりうる観光施設でもある。残す方向での対応が良いと思う。 ・ラムネ銀泉の存続を前提にせず、加田の湯を充実させる方向もあるのではと思う。 ・小さな拠点や町民の健康増進という位置づけもあるようだが、町民に対して何かしらのアクションをすべき。地元も使う施設にすべきである。 ・自立を目指すのであれば、採算分岐点を把握し、それに対して年次、複数年の目標設定をすべきである。 ・周辺施設、町内施設との連携をし、一体となった取組みとなるように進めてほしい。 <p><質問等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラムネ銀泉の利用者は、昨年と比べて増加しているのか。 <p>Ans: 現状では平成 28 年とあまり変わっていない。</p>

			<ul style="list-style-type: none"> ・目標指標は、1,200 万円の売上だが、経営的には厳しいというのはどういうことか。 <p>Ans：目標指標は、今までの経過を見て 2 割増しで設定した。自立に向けてはより収益を上げる必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラムネ銀泉の損益分岐点はどのくらいか。 <p>Ans：年間温泉入浴者数 29,000 人、年間 14,000 千円が分岐点（物販委託販売除く）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立する見込みが無ければ、事業凍結する方向性も検討すべきと思うが。 <p>Ans：飯南町施設管理計画に基づき、今後施設管理について検討する。ただし、温泉施設は、高速道路開通後も減少することなく利用者がある。町民の健康増進や観光面の双方で必要な施設と考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内、町外の利用者割合はどのくらいか。 <p>Ans：聞き取り等調査をしていないため、正確性は低いですが、利用者の町内 2 割、町外 8 割の状況</p>
振 1-1,1-5、 戦 2-2,4-3 小さな拠点づくり推進事業	地域振 興課	B	<p><意見・提案等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・志々や、谷地区は、小さな拠点という言葉が出る前から独自に行われている。小さな拠点づくりの形にこだわらずに支援などを行ってほしい。 ・行政側として、小さな拠点とは何かを理解して進めるべきである。啓発活動をしっかりと行ってほしい。 ・集落支援員の設置をしているが、集落支援員も小さな拠点とは何か、継続的な地域をつくるにはどうしたらよいかなど把握して進めてほしい。 ・金銭的支援のみでなく、組織の作り方から教えてあげる事も必要。組織の作り方が分からない事がある。 ・集落支援員、公民館長、公民館主事などスタッフがいるが、それぞれの役割を明確にすべきである。地域づくりについて、誰に言えばいいのか、誰が何をするのかが不明である。 ・集落支援員を配置したというのは対策ではない。この配置したスタッフが何をしていくかが重要。また行政もお金と支援員を配置し、支援員にまかせっきりででは推進できない。役割を定め、両輪として機能するように進めてほしい。 ・進捗管理シートでは、実際何をしたのか具体的に記載すべきである。良い動きをしているのに文面では <p>A:0 B:8 C:2 D:0 E:0 未:0</p>

			<p>伝わらない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館ごとに集落支援員を配置したので、包括ケアとの連携やデマンド型タクシーの実態調査など、出来る所から動いていければ小さな拠点づくりに繋がると感じる。 ・地域づくり人材育成講座は、1回ではなく、フォロー研修など行いながら、継続して意識づくりをする必要がある。 ・公共交通機関利用促進事業（デマンド・自治会輸送）と連携を行いながら進めていくことが必要である。 ・小さな拠点では、公民館が担っている部分が多すぎる。体制を整えてから推進すべきである。 ・赤名、来島の支援では、一度コンサルを入れて検討してもいいのではと思う。 <p><質問等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・谷や志々地区は、行政としてどのような関わりをしているのか。 <p>Ans: 推進するための金銭的支援のほか、住民だけでは出来ない事を行政がかかわって対策をしている。会合などの参加も行っている。</p>
振 1-1,1-5、 戦 4-3 買い物支援対策事業	地域振 興課	B	<p><意見・提案等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政として支援しているため、その後の運営状況について把握しておく必要がある。 ・見守り機能もあるため、どのような意見があったか、緊急で連絡したことがあるのか把握すべきである。 ・事業実施前に自治会長などに説明をして進められたことは良い。戸別訪問も大変喜ばれている。 <p>A:1 B:8 C:0 D:0 E:0 未:1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動販売により、地元商店が使われなくなっていないかを確認を。支援する場合は、町内商店とのバランスを考えて行うことが必要である。 ・買い物弱者対策として効果的な施策である。 ・必要性について検討をして進めてほしい。他の宅配やネット販売を利用する方も多いのではないか。 ・地域住民が集う機会や場所にて移動販売が来られると効果的だと思う。運営者に情報提供してほしい。 ・高齢化により、見守りを含め買い物弱者を支援するこの事業は大きな期待ができる。補助金が無くなる中で効率的な支援を検討してほしい。

<p>振 2-2、 戦 4-2 飯南高校教育 支援事業</p>	<p>地域振 興課</p>	<p>A</p>	<p><意見・提案等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後も普通科のみで近隣高校と競争するには限界がある。特色ある学科導入などを検討してみてはと思う。飯南高校ドリームアップ推進協議会などで今後の生徒確保について検討を行って欲しい。 ・ 飯南高校でなければ出来ない特色を出し、公営塾を充実させ進学校に作り上げることや、ハンドボールに力を注ぐなど特色をより出してほしい。 ・ 目標指標に対する評価、今後に向けての改善も適切である。山間部の特色ある学校づくりに様々な取組みがされており大きく評価できる。 ・ 飯南高校に通いたいという魅力があるが、今後町内の子ども達が減少していくため不安を感じる。他の事業との連携をしっかりと行って欲しい。 ・ 三次市内の生徒確保も見込めるので、通学支援（バス運行）や、広島交通等と時間調整を考えてみてはと思う。 ・ 島根県の魅力化事業と連携をし、島根県全体で県外生徒を呼び込んでいく必要がある。 ・ 生活面では、寮生は門限や休日の活動に制限がある。柔軟な対応が必要である。 ・ 町外県外生徒確保のため、ホストファミリー制度など更に強化してほしい。 <p><質問等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総合振興計画の期間が終了しても飯南高校支援は継続されるのか。 <p>Ans：高校があることで活力が生まれている。定住と密接に関わりもあり、成果もでているため継続して事業を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 飯南高校を選ぶ魅力は何か。 <p>Ans：保小中高一貫教育を進めることで、地域挙げての動きとなっている点、部活動や生命地域学の魅力を感じてもらっている点、町外からバス運行しており、保護者の経済的負担を軽減している点などが選ばれる要因として考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 魅力化の学習とはなにか。 <p>Ans：飯南町をフィールドとした学習を取り入れており、中山間研究センターでの研修や、建設業の体験</p>
---	-------------------	----------	--

				<p>など行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進学就職の向上に向けた取組みは。 <p>Ans：飯南高校では、人前で発表する機会を多くしている。人前でプレゼンする能力を鍛えており、面接試験には大きな効果を得ている。</p>
<p>振 3-3、 戦 2-1 ふるさと応援 寄附促進事業</p>	<p>地域振 興課</p>	<p>C</p>	<p>A:0 B:0 C:7 D:1 E:1 未:1</p>	<p><意見・提案等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度と比べ件数は大きく減少しているが、地域経済の振興にもつながっているため、今後も納税件数拡大に向けて推進して欲しい。 ・高校生の意見など、地域一体となって盛り上げるため、小中学生にも 5,000 円分で欲しいものを考えてみようなどコンクール形式で参加を促す事も面白いと思う。 ・減少した要因分析を行い、行った対策でどのような効果があったのかを検証して進めてほしい。 ・協賛品の発信力が弱い。メインの肉・米のネットでの見せ方など改善する必要がある。 ・自治体競争になったり、個人の減税のための寄附になったりするようであれば、国の制度自体を廃止すべきと思う。 ・自治体間の競争になると意味がない。寄附者を集める趣旨をもう一度確認してほしい。 ・まずは出身者会への PR をすべきである。 ・寄附金の利用目的を決めてから、お願いする方法も考えてみてほしい。 ・地域住民等からのアイデア募集など検討してほしい。 <p><質問等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・返礼品で多いのは何か。 <p>Ans：和牛肉が多い。時期によっては飯南米やアイスクリームも反応がある。</p>

<p>振 5-1、 戦 2-2 三十路式事業</p>	<p>地域振 興課</p>	<p>C</p>	<p>A:2 B:1 C:6 D:0 E:0 未:1</p>	<p><意見・提案等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・三十路式は、自らが企画し実施する会となっており、UI ターンの対策としても良い。 ・出身者会の会員登録に繋げる対策を講じてほしい。 ・三十路式に関わらず、同窓会開催の支援も行われている。知らない方も多いため周知を行って欲しい。 ・飯南町への愛着心醸成や UI ターン施策としても効果的な事業であると思う。 ・目標指標では、対象者数と参加者数を記載してもらえるとより状況が把握できると思う。 ・三十路式事業により、Uターン者がどれだけ増加したかを出すように。事業効果の検証になる。 ・単なる同窓会にならないようにしてほしい。 ・三十路式は、まだ認知度が低い。早期に実行委員会を立ち上げるよう早めの取組みが必要。
<p>振 5-1、 戦 2-3 定住促進対策 事業</p>	<p>地域振 興課</p>	<p>A</p>	<p>A:8 B:2 C:0 D:0 E:0 未:0</p>	<p><意見・提案等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に移住された方が、飯南に決めた理由は定住担当者の対応と言っていた。引き続き、きめ細やかな対応をお願いしたい。 ・今後相談件数が増える見込みがあるため、定住後のフォローと併せてスタッフの増員など検討を。 ・定住者の人数拡大はもちろんだが、飯南町へ定住するメリット、デメリットを事前にしっかり伝え、定着率の拡大を図ってほしい。 ・自治会でお迎えする姿勢を醸成するためにも、自治会や民生委員に相談し、U ターンしたい方の調査をし、個人交渉・情報発信をしても良いかと思う。 ・人材確保センターも設置され、就業相談も積極的に進められることで進捗度は益々大きくなると思う。 <p><質問等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・UI ターンする方の一番のポイントは。 <p>Ans: 子育ての環境が良く、地域で子育てをしている雰囲気は喜ばれている。施策内容ではなく、地域の受け入れる姿勢が魅力であると考えている。 <ul style="list-style-type: none"> ・田舎暮らしの本による効果はあったか。 <p>Ans: この本は意識の高い方が読まれているので、定住相談会では足を運んでくれる。良い効果が得られていると考える。</p> </p>

<p>振 2-2、 戦 4-2 教育振興共通 臨時管理費</p>	<p>教育委 員会</p>	<p>B</p>	<p><意見・提案等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目標とする指標がないが、町としてどこまで設置していくのかというのも一つの目安と思う。 ・ 教育関係は、目標指数を設定しにくいですが、ソフト面での成果が図れる具体的な指数を出し、推進する姿勢が必要と思われる。 ・ 高校の生徒数が目標指標となっているが、今後この指標を掲げるなら、小中学生の生徒数増加に繋がる施策を検討してはと思う。 ・ 今後の教育を考えると継続して進めて頂きたい。 ・ ICT 機器を使用することで、学習の興味・関心が高まるかは疑問である。学力向上など、導入効果について数値的に検証を行ってほしい。 ・ ICT 導入を含め、先生方の負担が軽減させる仕組みも検討してほしい。 <p>A:2 <質問等> B:6 C:1 D:1 E:0 未:0</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学生はタブレットが使いこなせるようになるのか。 <p>Ans : 覚えるのも早く、使えるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ICT 支援員とは何をするのか。 <p>Ans : 先生方の支援として各学校を訪問して ICT 教育の導入を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ICT 教育導入の経緯は <p>Ans : 平成 23 年に島根県にて ICT 教育を導入する案が出ていた。飯南町はこの案が出てからいち早く導入することにした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後も機器類の導入を行うのか。 <p>Ans : 今後の活用状況を見て、必要であれば追加して導入する考えはある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ICT 導入のデメリットはあるのか。 <p>Ans : 設備が高額になること。5 年後には更新する必要がある。教育上では、デジタルとアナログ（教科書など）の使い分けがまだわからない状態である。教員も推進しながら常に改善する形で対応している。</p>
--	-------------------	----------	--

<p>振 4-1、 戦 4-1 保健衛生総務 経常管理費</p>	<p>保健福 祉課</p>	<p>A</p>	<p>A:5 B:5 C:0 D:0 E:0 未:0</p>	<p><意見・提案等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間ドックや健康診断は保険がきかない。飯南町で受診すると補助があるなど策を講じてみては。 ・保健福祉課から届く案内は、きめ細やかである。文字も大きく高齢者にも配慮されている。この点からも健康意識の醸成に寄与していると思われる。 ・飯南町は、70歳以上の検診が無料となっている。大変良い事であるが、宣伝が足りない。より表に出していくべき。 ・検診を受けた際に、「いーにゃんポイント」が付く対策を講じられた。しかし、取扱いが難しく、高齢者にも分かり難い。改善をし、分かりやすい制度に改善をしてほしい。 ・受診率を高めるには、受診しない方の調査をし、なぜ受診しないのかという把握をして対策を講じる必要がある。理由が分からないと受診率向上につなげにくい。 ・5年に一度は受診料が無料になるなどの対策があっても良いのでは。ハガキなどで個々に訴える事も必要である。 ・町外、県外で受診する方がいるようだが、せめて県内受診をするように補助をするなど、島根県と連携して進めていくよう検討してほしい。 ・職場で健診を行うシステムが無い所もあるため、自治会単位での働きかけは有効であると思う。 <p><質問等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・検診受診者の支援とは何か。 <p>Ans: 健診に来られた方のフォローやサロンなどの教室で保健師が出向き、健診にかかわらず健康相談を行う。また、受診後の経過を聞くようにしている。</p>
<p>振 4-2、 戦 4-1 医療従事者確 保対策事業</p>	<p>保健福 祉課</p>	<p>B</p>	<p>A:0 B:9 C:1 D:0 E:0 未:0</p>	<p><意見・提案等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後は在宅医療が主になってくるのではと考えている。CATV の活用と併せて遠隔地医療など検討をしてほしい。 ・介護人材が少ない状況である。介護福祉士など有資格者に対して町からの手当など支援ができないか。支度金だけでなく、就業後の賃金アップも定着に繋がると考える。

				<ul style="list-style-type: none"> ・有資格者の離職があると聞いたが、その背景を分析して、離職率を減少させる取組みも並行して行えれば本義を達成できるのではと思う。 ・助成制度により町内から人材を育成する方法はとても良いと考える。助成金や支度金の額が分からないため進捗管理シートには具体的に記載すべき。 ・地域に総合病院があることは、安心して暮らせる要因である。人材確保は厳しいと思うが、引き続き取り組んでほしい。 ・医療・介護人材確保では、高校入学など進路を決めていく時期にアクションを起こすべきである。 <p><質問等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、医療従事者確保対策事業を活用している方は何名か。 <p>Ans : 16名である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問件数は、77%の達成率だが、原因はなにか。 <p>Ans:今までは看護師不足で対応できなかった状態である。今年は1名増員となっており対応の強化が図られている。しかし、看護師は不足している状況は変わっていない。</p>
振 4-3 地域包括支援 センター運営 事業	保健福 祉課	A	<p>A:5 B:4 C:0 D:0 E:0 未:1</p>	<p><意見・提案等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・閉じこもりがちな男性も参加するケースが見られ、出かけるようになってきている。効果的な事業である。 ・引きこもっている住民もいると思われるため、長生き体操の他、参加を促す対策をお願いしたい。 ・評価や、今後に向けての改善など適切であると思う。 ・長生き体操などの事業を通じ、行政と住民の信頼関係が築け、相談しやすい環境に繋がるのではと思う。 ・長生き体操なども「いーにゃんポイント」に該当するようにしてほしい。 ・訪問看護の一環として、福祉施設への訪問ができないか検討してほしい。
振 4-4 障がい者地域 生活支援事業	福祉事 務所	C	<p>A:0 B:0 C:6 D:2 E:0 未:2</p>	<p><意見・提案等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営が困難であるところなので、施設数を増やす目標指標よりも、今ある施設をより良く活用・運営できる事を目指すべきと考える。 ・教育現場でも障がい、発達障害を持つ児童・生徒が在籍している。この地域で生活できる環境整備が求

				<p>められる。インクルーシブ教育の考え方を町民に周知してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニーズ調査を早期に行い、正確な把握が第一ではと思う。 <p><質問等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループホームの定員数は。 <p>Ans：頓原 7 人、赤来 6 人である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤名のグループホームは、2 名の利用者と聞くが、経営的に厳しいのでは。 <p>Ans：旧赤来に一箇所、旧頓原に一箇所は残していきたいと考えている。現在、支援策を検討している。</p>
振 3-1、 戦 3-1 園芸振興対策 事業	産業振 興課	B	<p>A:0 B:4 C:3 D:1 E:0 未:2</p> <p><意見・提案等> (就農者支援関係)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者は、経営的に採算が取れるようになるまでは支援する必要がある。リースハウスを設置して終わりという事が無いように現状把握をして指導や支援策を講じる必要がある。 ・この事業で新規就農者もいるため、将来的に年間雇用や担い手の定住を目指すのではなく、今現在の具体的な策を掲げて進めていくべきと思う。 <p>(農業振興関係)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産量の拡大については支援するが、加工や販売面では力を入れない。売れなければ農家所得は上がらないため、この部分への支援策を講じる必要がある。 ・農業者が一年を通じて収入を得る仕組みを検討してほしい。ペレット活用、冬季中の農業を検討すべき。 ・栽培技術の向上も必要だが、低コストで自然に逆らわない農業を推進してはと思う。 	
振 3-1、 戦 3-1 リースハウス 団地整備事業	産業振 興課	B	<p>A:0 B:7 C:2 D:0 E:0 未:1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販路があって商品を組立てる事も考えては。産直市では生産拡大に限界がある。契約栽培など、単価・出荷量が保障されるやり方も必要である。 ・振興アドバイザー配置により、どのくらい栽培技術が向上し、販売高が上がってきたのかを分析してほしい。効果が把握できない。 <p>(i まるシェ関係)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店舗専属マネージャーを設置した。この効果はどうだったかなど検証をして進める必要がある。 ・改善や推進が難しいのであれば閉鎖することも考え 	

			<p>てほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置の趣旨・目的が不明になっている。位置づけを明確に。直売所としては生産者自らが説明して販売するという形を取らないと売れない。 <p>(飯南ブランド関係)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飯南ブランドの構築について話が無い。飯南町は、ブランド力が弱い。個々の生産者ではできないため行政として組立てていくべきである。 ・飯南ブランドの構築については不十分である。今充てられている予算の中で、どこに焦点を置いていくべきか再検討が必要であると思う。 ・飯南ブランドは、「飯南」を使うのか、「頓原」「赤来」など名前を使うのかをしっかりと定めてから進めるべき。「高原」という響きは良いと思う。
振 3-1、 戦 2-2 森林セラピー 推進事業	産業振 興課	C	<p><意見・提案等></p> <p>(森林セラピー推進関係)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初は産業振興（観光）として進められてきたが、現在は保健福祉としても活用されている。町民への普及も振興の一つになると思う。 ・ふるさとの森やもりのすは、森林セラピーに寄与する施設として島根県から購入している。指定管理者が変わり、その考えが変わってきている。行政としても目的をはっきりさせて進めるべき。 <p>A:0 B:0 C:7 D:2 E:1 未:0</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林間学校のように小中学生の遠足を誘致するなど対策をしてはと思う。 ・観光と健康の目的があるため、目標指標では、町内・町外・県外など分けて数値を出す方が良い。すべて合わせた数値だと不明確になる。 ・森林の素晴らしさを実感できる場所は多く、飯南町が太刀打ちできると思わない。町民対象のプログラムを実施しても参加者が集まると思えない。再検討が必要である。 ・セラピーガイドの育成・スキルアップは良いが、ガイドとして活動しているのは一握りである。専従のスタッフの配置など考えてみてはと思う。 ・飯南町民が森林セラピーを通じ、健康増進や介護予防につながるよう促進を図ることが一番である。達成率は低いですが、継続して実施してほしい。

			<p>(飯南町ふるさとの森関係)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もりのすは、気軽に昼食が取れないため行くにも抵抗がある。 ・もりのす前の川にヤマメを放すなど、名物を作ることを考えてほしい。 ・現在の指定管理者の運営形態も良いと思う。森林セラピーは言葉も認知されてなく難しい。ふるさとの森は、行けば良さが分かる。PRが不足している。 <p><質問等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前は、大手企業と連携協定していたが、現在はどうか。 <p>Ans: 企業協定は更新されず終了している。利用者確保に繋がっていないため、現在行っていない。現在、利用者拡大のため検討をしている。</p>
振 3-3、 戦 3-2 飯南町情報発信事業	産業振 興課	C	<p><意見・提案等></p> <p>(観光振興関係)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光動態調査では効果が見えにくい。観光客がどれだけ消費したのか、また観光客の動線など動きを把握し、これに併せた商品を検討すべきである。 ・飯南の観光地や景勝地を取りまとめて PR をしてほしい。飯南八景等ポイントを絞り進める事も検討を。 ・観光協会も含め、観光に関するデータを取らずに進められている。現在は、目先の対応となっているため、しっかりと戦略をたてて進めるべきである。 ・三瓶山広域ツーリズム振興協議会など近隣市町と連携して進められているが、どのように活かしていくのかを考えて取り組んでほしい。 ・観光地としての基盤づくりとあるため、お越しいただいた方が、次につながるために景観保全活動などの動きを作ってみてはと思う。 <p>A:0 B:1 C:9 D:0 E:0 未:0</p>
振 3-3、 戦 3-2 観光協会運営事業	産業振 興課	B	<ul style="list-style-type: none"> ・観光協会は、飯南町の長所を活かした誘客の努力を感じる。 ・観光誘客ではマスメディアやアドバイザーを有効に使い努力されているが、観光資源の発掘や滞在日数を増やすための対策が不十分である。 <p>(イベント関係)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントを実施することが目的になっている。来られた方がイベント後などで買い物をさせることを考 <p>A:0 B:5 C:5 D:0 E:0 未:0</p>

			<p>えて取組む必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他のイベントに乗っかるのではなく、自ら企画して発信する仕組みを考えていくべきである。 ・一方通行の情報発信であるので、利用者のニーズなど情報を得ることをしてほしい。データを集めては会員に提供する仕組みが必要である。 ・イベントの精査をしながら進められており、継続して推進されるのは良いと考える。 ・琴引フォレストパークスキー場の、夏場利用を検討しては。夏ジャズフェス開催や、バーベキューなど。 (インバウンド等新規事業) ・インバウンドでは、さまざまな国をターゲットにせず、まずは台湾を中心に進めていくのは良いと思う。 ・インバウンドやサイクリングについての状況は、会員は把握していない。会員間でデータを共有していくことをする必要がある。 ・インバウンドは、クレジット決済が多い。会員施設がクレジット決済できるよう支援してほしいと思う。また、現金よりも買う量が多くなる傾向もある。 (道の駅赤来高原関係) ・道の駅「赤来高原」について、交流センターとして機能していない。レストランも使いにくく、特徴が無い。運営について再検討をすべきである。 (観光ホームページ関係) ・「さとやまにあ」について、飯南町の公式観光ホームページであるが、情報収集がされていない。各会員が情報提供することも必要だが、観光協会も会員への照会をするなど情報共有をすべきである。 ・デジタルサイネージは、尾道松江線ネットワーク会議にて国交省、関係する市町連携で進められてきた。これを活かしていくべきと思う。 ・デジタルサイネージは、町外への発信はまだ弱いですが、来られている方はよく見ている。今後もより精度の高い仕組みづくりを期待する。 ・「さとやまにあ」「里山コミッション」と通じて、「特産品の販路拡大」とあるが、商談成立などの実績はあるのか。資金投入するのであれば、その効果を検証すべきである。
--	--	--	--

<p>振 3-4、 戦 3-3 創業支援事業</p>	<p>産業振 興課</p>	<p>B</p>	<p>A:0 B:5 C:4 D:0 E:0 未:1</p>	<p><意見・提案等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成金がある間は運営できるが、無くなった場合にも自立した運営ができるよう、状況把握をし、随時指導しながら進めてほしい。 ・産業人材の育成を図る事業内容は良いが、目標指標が分かりづらく評価がしにくい。新たに設定しても良いのでは。 ・審査の過程で外部の意見と取り入れる仕組みは良い。融資が条件であるため、計画も信憑性が高くなる。 ・起業できる町になってほしい。そのためにもネット環境や、住居などの整備を並行して進めてほしい。 ・新産業として「ふぐの養殖」を提案している。淡水で養殖することを岡山理科大学が行っている。検討してみてもと思う。 ・従事者数の達成率が低い。新産業創出に関わる研修会やシンポジウムなど引き続き検討してほしい。
<p>戦 2-2 ヘルスケアビ ジネス推進事 業</p>	<p>産業振 興課</p>	<p>C</p>	<p>A:0 B:0 C:9 D:0 E:0 未:1</p>	<p><意見・提案等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・玄米は良いが、食味はあまりよくない。しかし、健康面では効果が出ている。 ・超高水圧玄米は、通常の玄米と比べれば食べやすいのだが、高額すぎる。 ・ホットケーキミックスは売れている。PR 面がまだ弱いのではと思う。 ・広報等でエリーゼの特集を行っては。具体的な効果を発表して PR したらどうか。身近な町内にて調査を行われているため、広報効果も高いのでは。 ・飯南の米を使っていないため、地域農業の振興となっているのか疑問である。 ・白米と玄米を同時に炊ける炊飯器をセット販売しては。健康志向者にはインパクトも必要である。 ・健康診断率向上とセットで取組んではどうか。超高水圧玄米での数値がどれだけ改善されたかを同じ検査ですれば効果的ではと思う。 ・町民の認知向上が一番であり、健康増進に結び付くものである。積極的に取組んでほしい。

5 評価委員による見直し等提言

より一層効果的な評価を行うために、下記の点について提言いたします。

○新しい成果指数の追加

人事異動や担当者の交代により、当初の目的や目標が薄れてしまい、何を達成しようとしているのか曖昧になる傾向があります。目標指標が無い施策については、各課で新たに目標設定するなど効果が測定できるようにしていく必要があると思われます。

○進捗管理シート記載方法について

進捗管理シート「評価（C）」では、具体的に取組んだ事項や数値的な状況を提示しながら記載するようにしてください。担当課との意見交換により把握はできましたが、一般の方がこの進捗管理シートを見て理解できる内容にすることが必要であると思われます。地域と行政が一体となり各事業の推進をするためには、提示する資料等でも把握できるようにお願いします。

○推進体制の強化について

飯南町総合振興計画は、飯南町のすべての計画の上位計画となります。地域住民に対しても総合振興計画にある施策として紹介をしながら説明するなど、職員の皆さまは計画を把握し、率先して取組むようお願いいたします。

6 添付資料

- ・平成 29 年度飯南町総合振興計画等評価委員会名簿（資料 1）
- ・飯南町の状況（人口）について（資料 2）
- ・飯南町総合振興計画・総合戦略の目標指数について（資料 3）
- ・平成 27 年度繰越事業 地方創生加速化交付金の実績について（資料 4）
- ・平成 28 年度繰越事業 地方創生拠点整備交付金について（資料 5）
- ・平成 29 年度事業 地方創生推進交付金について（資料 6）
- ・平成 29 年度事業 地方創生推進交付金（道整備）について（資料 7）
- ・進捗管理シート（資料 8）

7 平成 29 年度飯南町総合振興計画等評価委員会

委員氏名	所 属 等	備 考
赤穴 憲一	公募による住民	委員長
奥野 恵子	公募による住民	副委員長
安部 順郎	公募による住民	
高橋 誠	飯南町商工会 青年部長	
景山 良一	飯南町頓原公民館 公民館主事	
徳永 光子	㈱山陰合同銀行 赤名出張所 出張所長	
松浦 秀樹	㈱山陰合同銀行 頓原出張所 出張所長	
小野 彰	飯南町社会福祉協議会 事務局長	
鹿田 明浩	飯南町 P T A 連合会 副会長	
佐藤 孝志	飯南町学校校長会 会長	
高尾 雅裕	山陰中央新報社 論説委員長	
丸山 誉宝	地域おこし協力隊	
有田 昭一郎	島根県中山間地域研究センター 主席研究員	